

2019年

8月27日（火）18:30～20:00

藤井節郎記念ホール

自ら医薬品副作用の知見を得るための データサイエンス的アプローチ

講師 **澤田 克彦** 先生

大鵬薬品工業株式会社 開発本部
統計・データ解析コンサルティング担当部長

略歴

1988年3月 岡山大学大学院博士前期課程修了（薬学部薬理学）

1988年4月 大鵬薬品工業株式会社入社

創薬研究員、臨床試験データサイエンス業務に従事する。
データサイエンス部門長を経て、2019年1月より統計・データ解析
コンサルタントを担当している。

講演概要

現在改正薬機法案が国会審議に入り、製薬会社や薬剤師の行動変容が求められている。患者中心の考えに基づき、医薬品の提供に関わる者が、自ら日本において利用可能な様々なリアルワールドデータを活用し、副作用に関する知見を得るためのデータサイエンス的アプローチを紹介したい。

※ 本セミナーは大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義を兼ねています。

主催: 大学院医歯薬学研究部 臨床薬理学分野（内線 3392）

共催: NPO法人 徳島医学研究・教育支援機構